



一般社団法人 日本建設機械工業会 会長記者会見

2018(平成30)年2月27日

会長 平野 耕太郎

会長記者会見 次第

●記者会見

- | | | | |
|------|---|------------------|-------------|
| 1. 開 | 会 | : 早水広報部会長 | 11:00 |
| 2. 報 | 告 | : 平野会長 | 11:02～11:30 |
| | | ・建設機械需要予測(出荷ベース) | |
| 3. 質 | 疑 | 応答 | 11:30～11:55 |
| 4. 閉 | 会 | : 早水広報部会長 | 11:55 |

●記者懇親会

時	間	:	17:30～
会	場	: 機械振興会館 2階	建機工 本部会議室

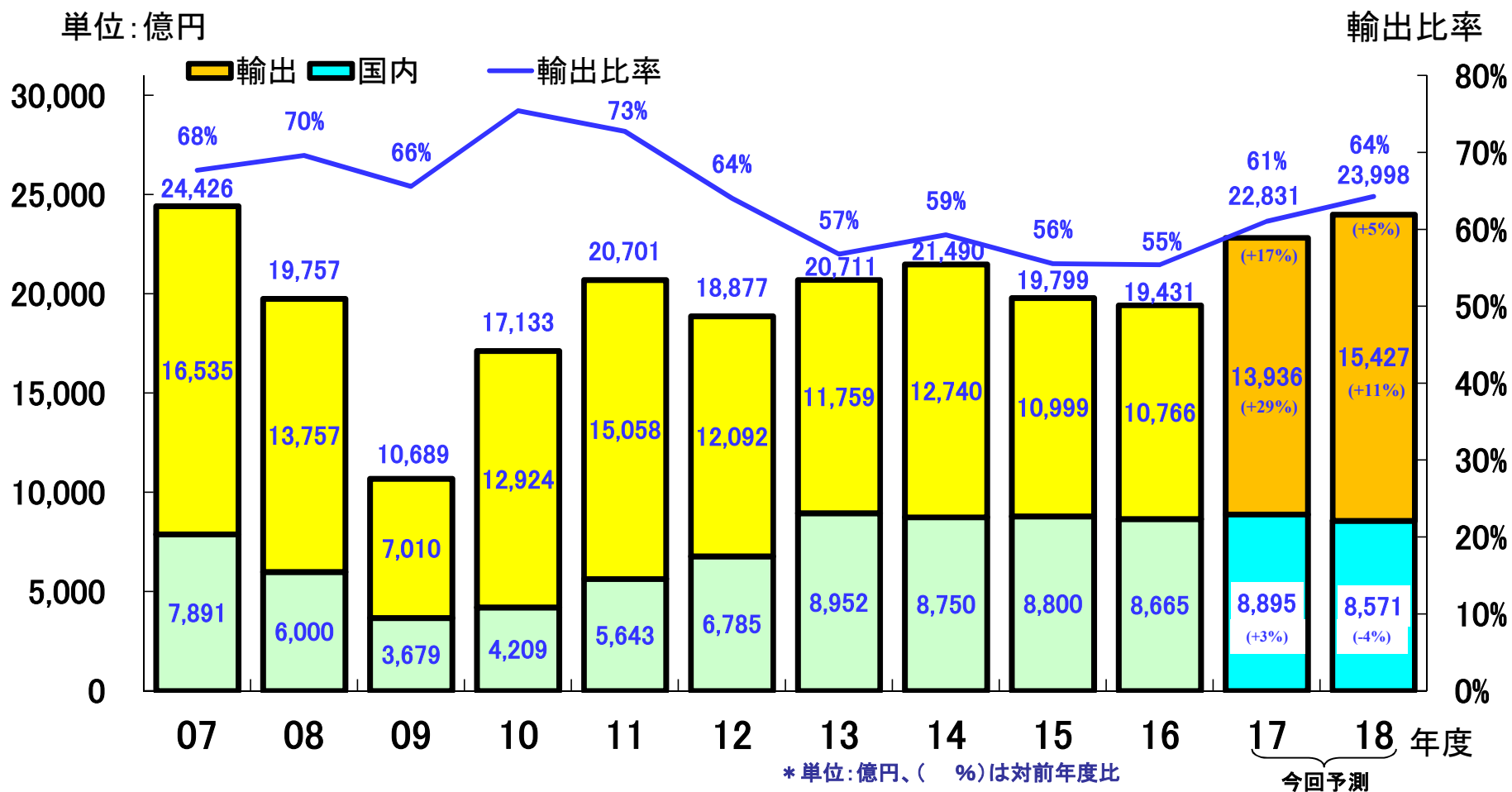
●次回(予定) : 2018年8月29日(水)

需要予測1: 本体出荷金額(年度ベース)



建設機械本体出荷金額の推移(年度)

国内は排ガス規制関連の駆け込み需要により増加、輸出は堅調。



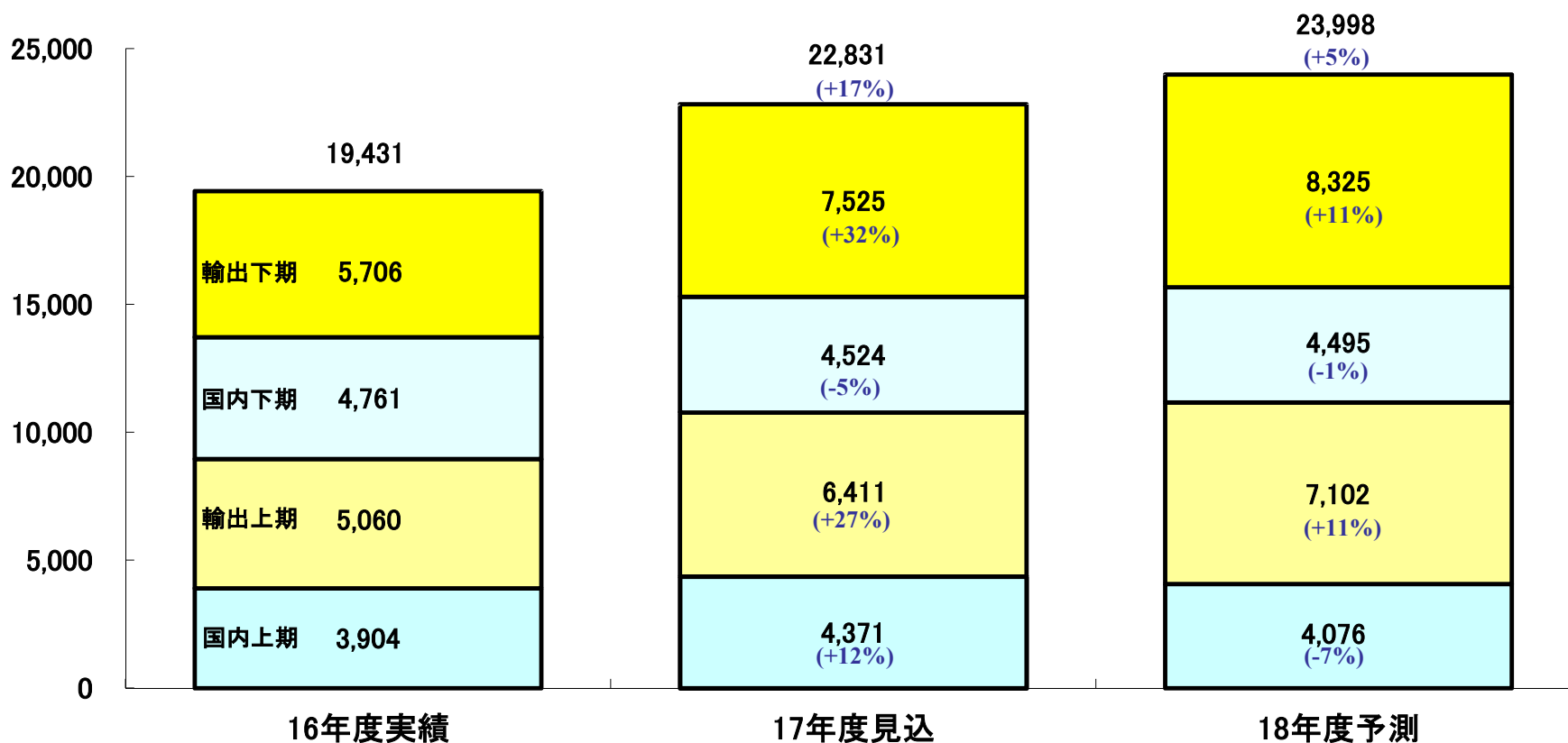
需要予測2: 本体出荷金額(半期比較)



建設機械本体出荷金額(半期比較)

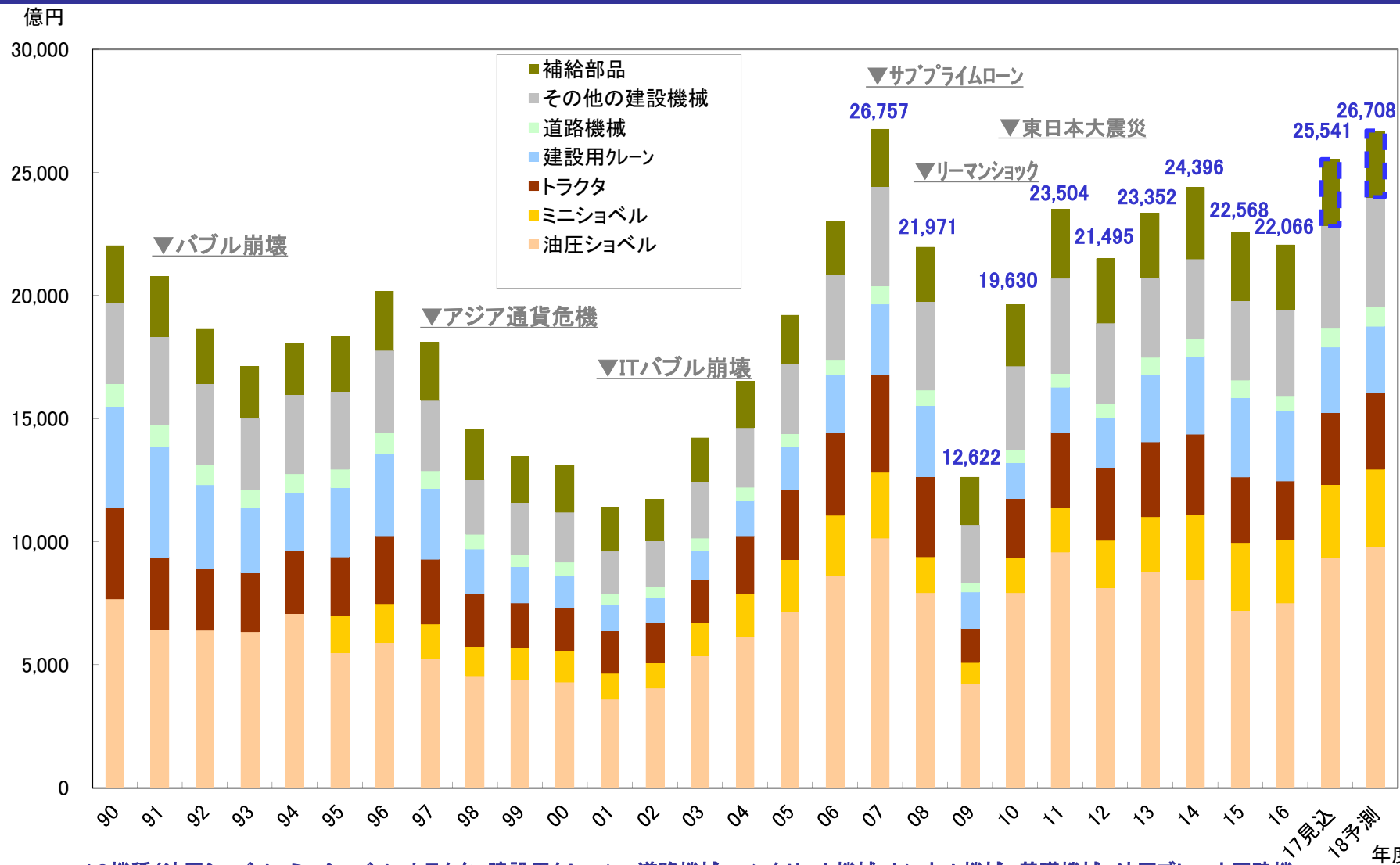
17年度は国内・輸出共に増加。18年度国内は反動減、輸出は堅調。

単位: 億円



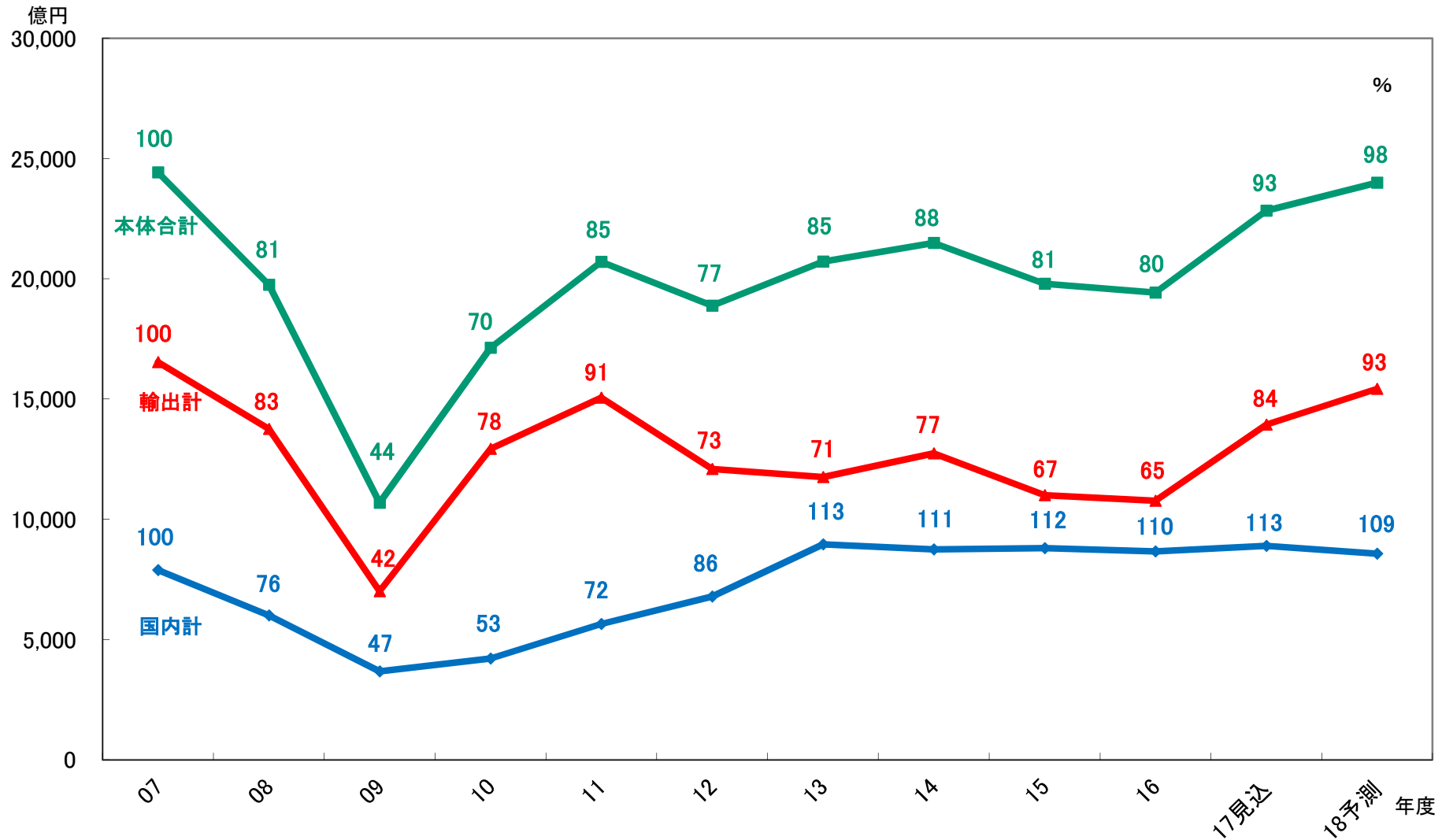
* 単位: 億円、(%)は対前年同期比

建設機械機種別出荷金額の推移



* 10機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、トンネル機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧碎機、その他建設機械)の出荷金額ベース。ただし、補給部品の17年見込および18年予測については、過去5年間の平均額(2,710億円)とする。
出典: 建機工自主統計

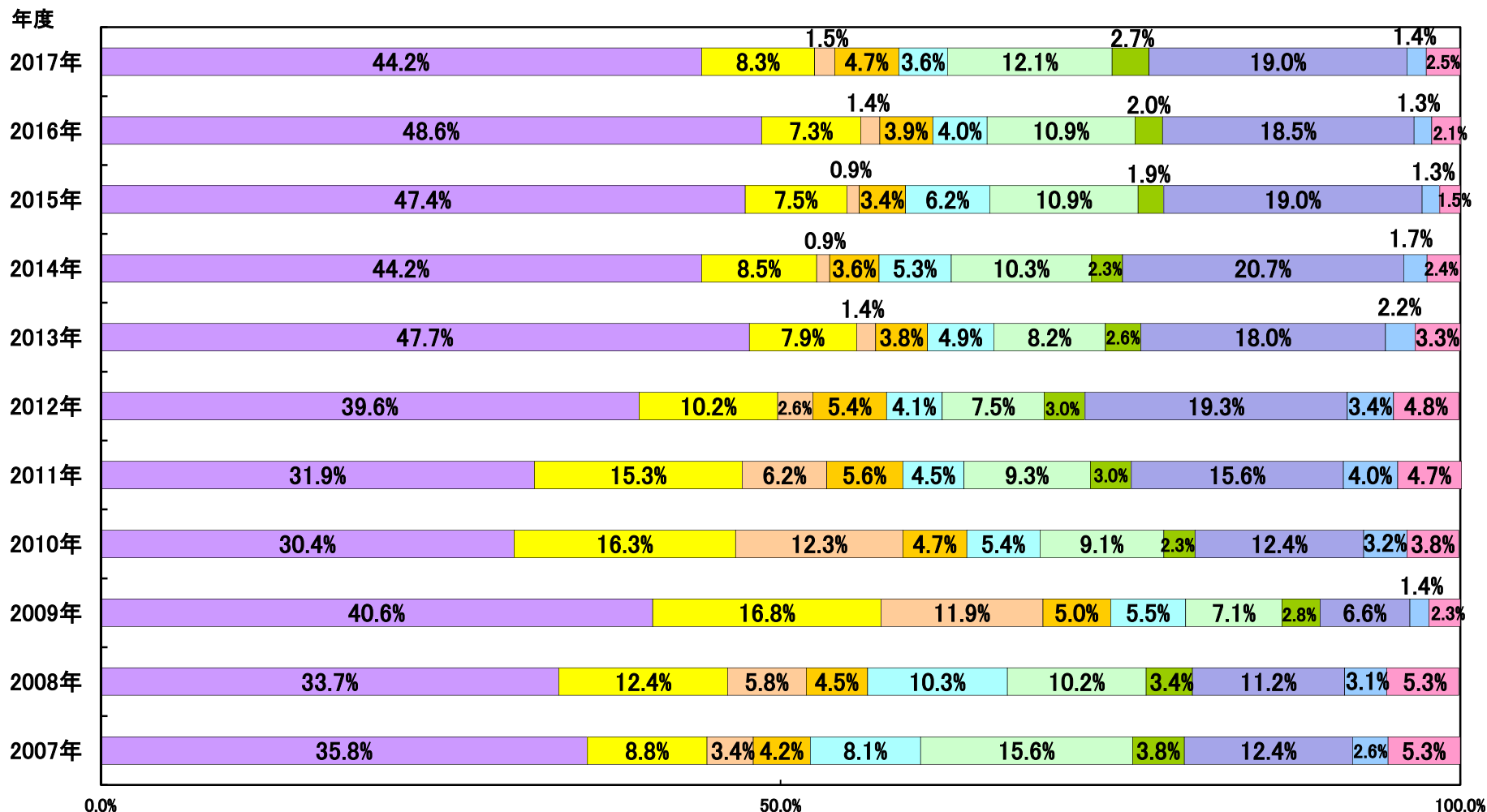
建設機械出荷金額推移:2007~2018年(年度)



* 10機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、トンネル機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧碎機、その他建設機械)の指数(2007年出荷金額を100とする)
出典:建機工自主統計

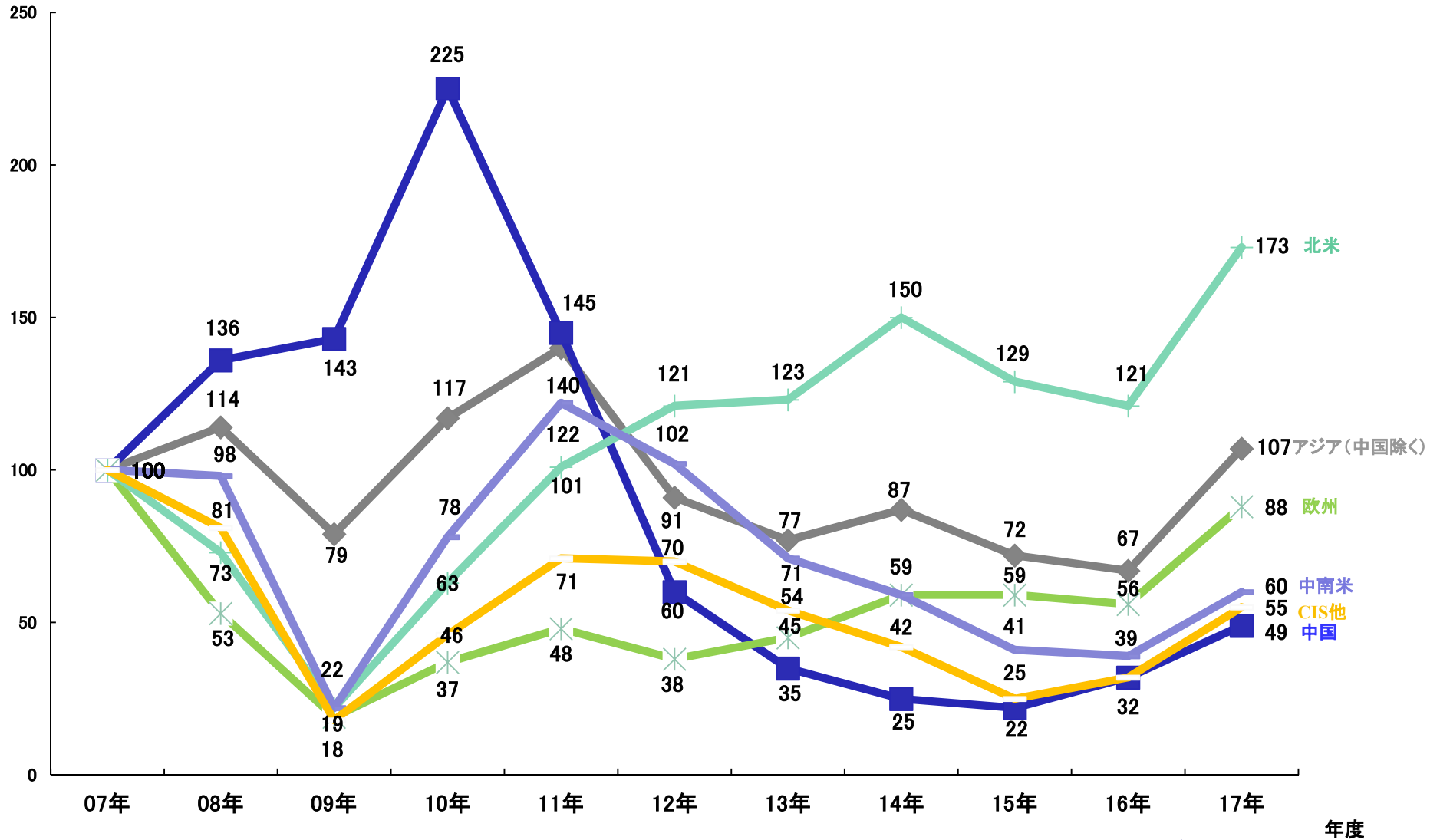
仕向先別出荷金額推移(構成比): 2007~2017年度

■ 国内 ■ アジア(中国除く) ■ 中国 ■ オセアニア ■ 中近東(含エジプト) ■ 欧州 ■ アフリカ ■ 北米 ■ 中南米 ■ CISその他東欧



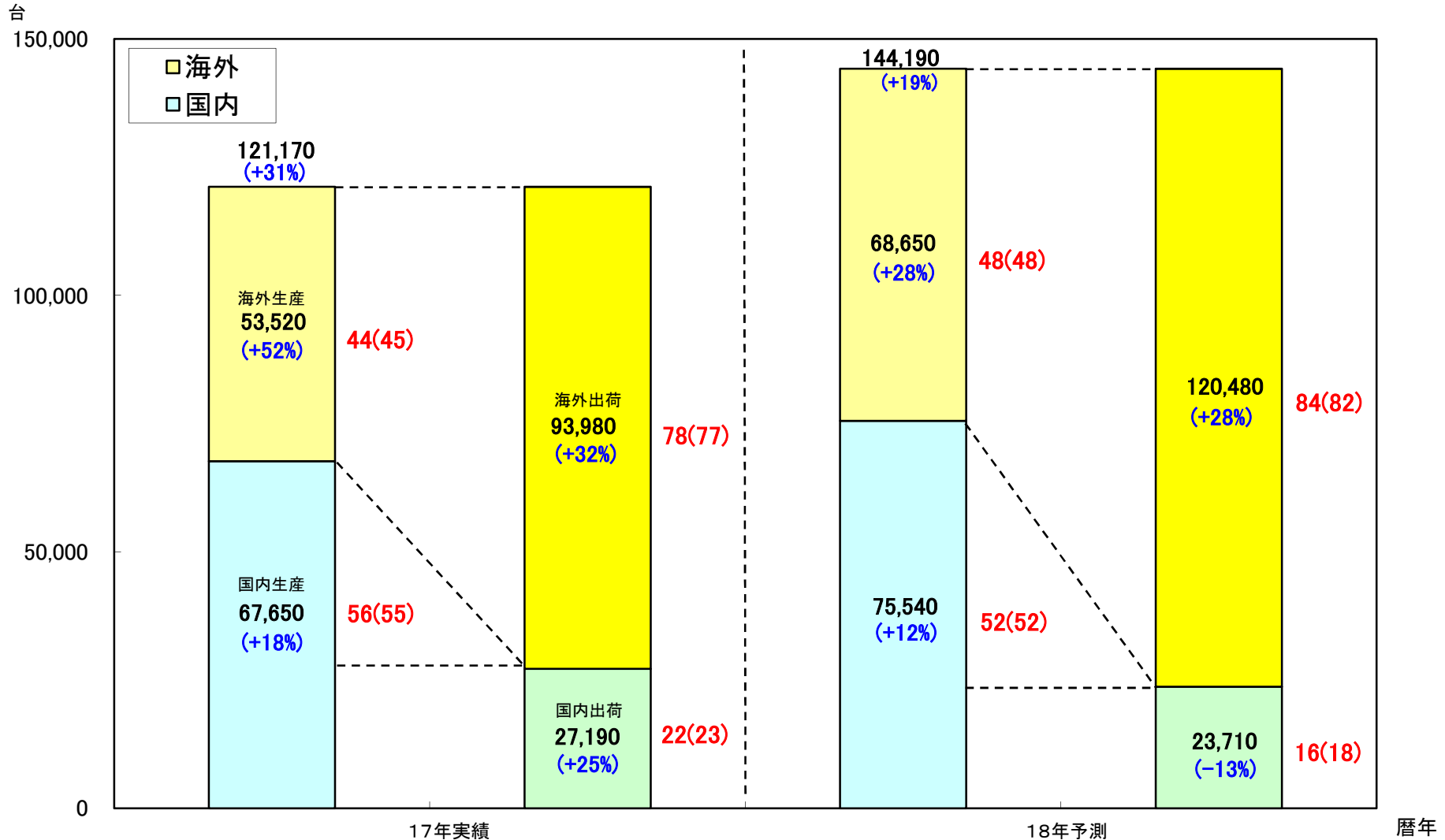
* 10機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、トンネル機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額ベース(コンポーネント含まず)
 注)2017年度は4~12月の仕向け先実績より予測 出典: 建機工自主統計

仕向先別出荷金額推移(2007年度を100とする指数)



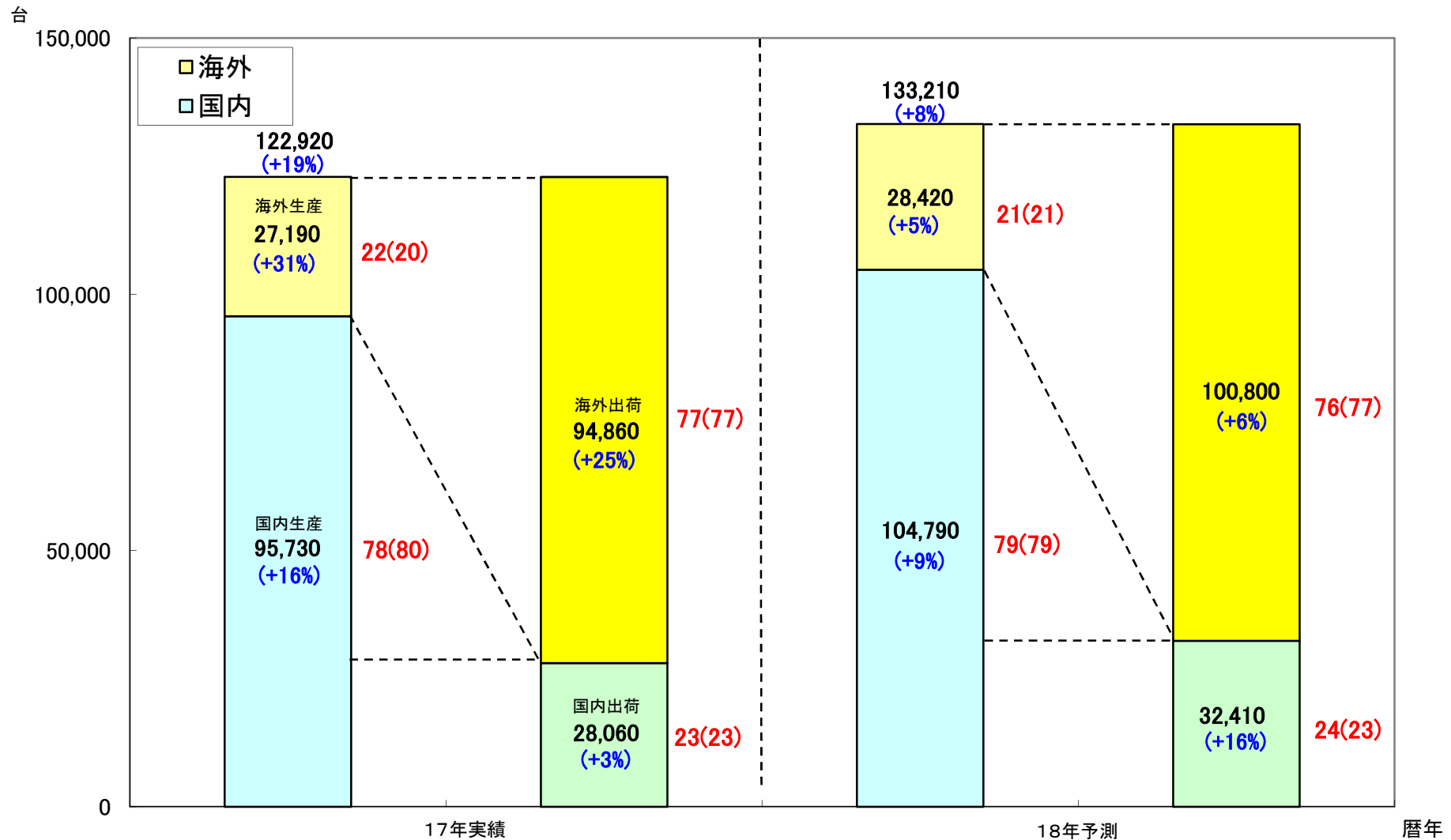
* 10機種(油圧ショベル、ミニショベル、トラクタ、建設用クレーン、道路機械、コンクリート機械、トンネル機械、基礎機械、油圧ブレーカ圧砕機、その他建設機械)の出荷金額の指数(2007年出荷金額を100とする)
 注)2017年度は4~12月の仕向け先実績より予測 出典:建機工自主統計

国内メーカーの生産・出荷見通し(油圧ショベル)



* 油圧ショベルの生産台数ベース
 * ()内は、8月時点の見通し値 ()内は、前年比。
 出典: 建機工調べ

国内メーカーの生産・出荷見通し(ミニショベル)



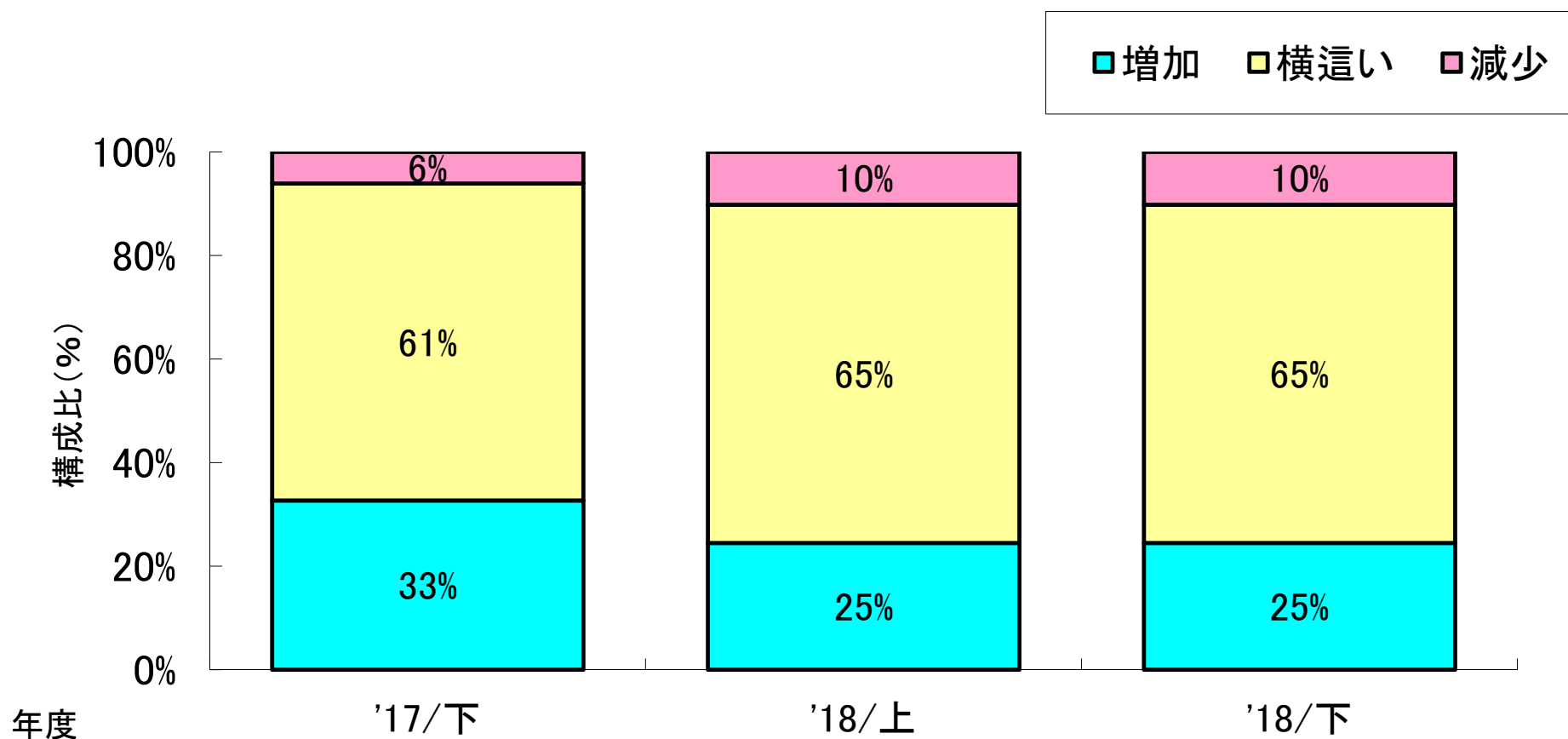
* ミニショベルの生産台数ベース
 * ()内は、8月時点の見通し値 ()内は、前年比。
 出典: 建機工調べ

国内需要予測の背景1 (会員の見方)



公共投資

18年度にかけて横這いが大勢を占める。

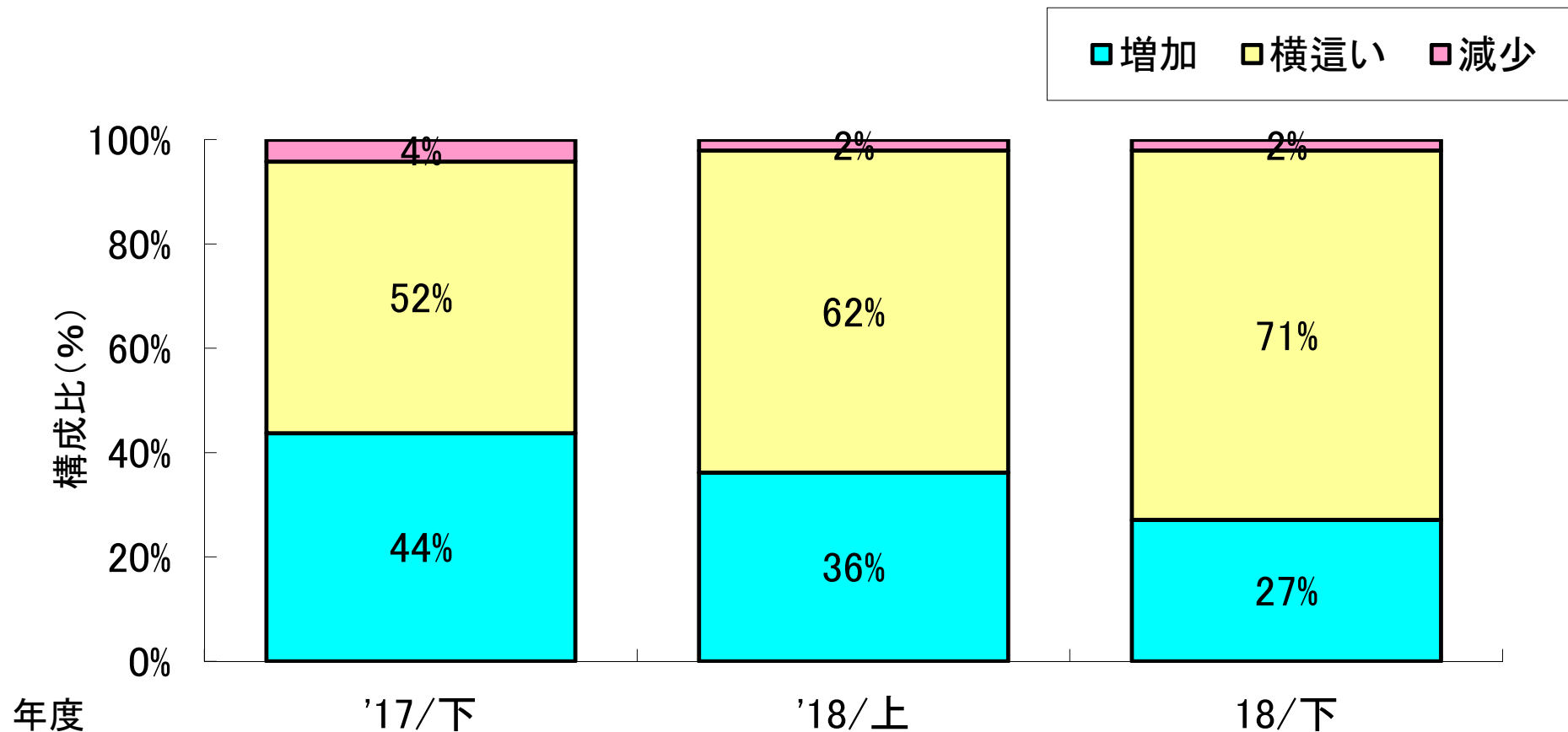


国内需要予測の背景2 (会員の見方)



民間設備投資

17年度は増加が半数近くを占めるも、18年度は横這いの見方が増える。

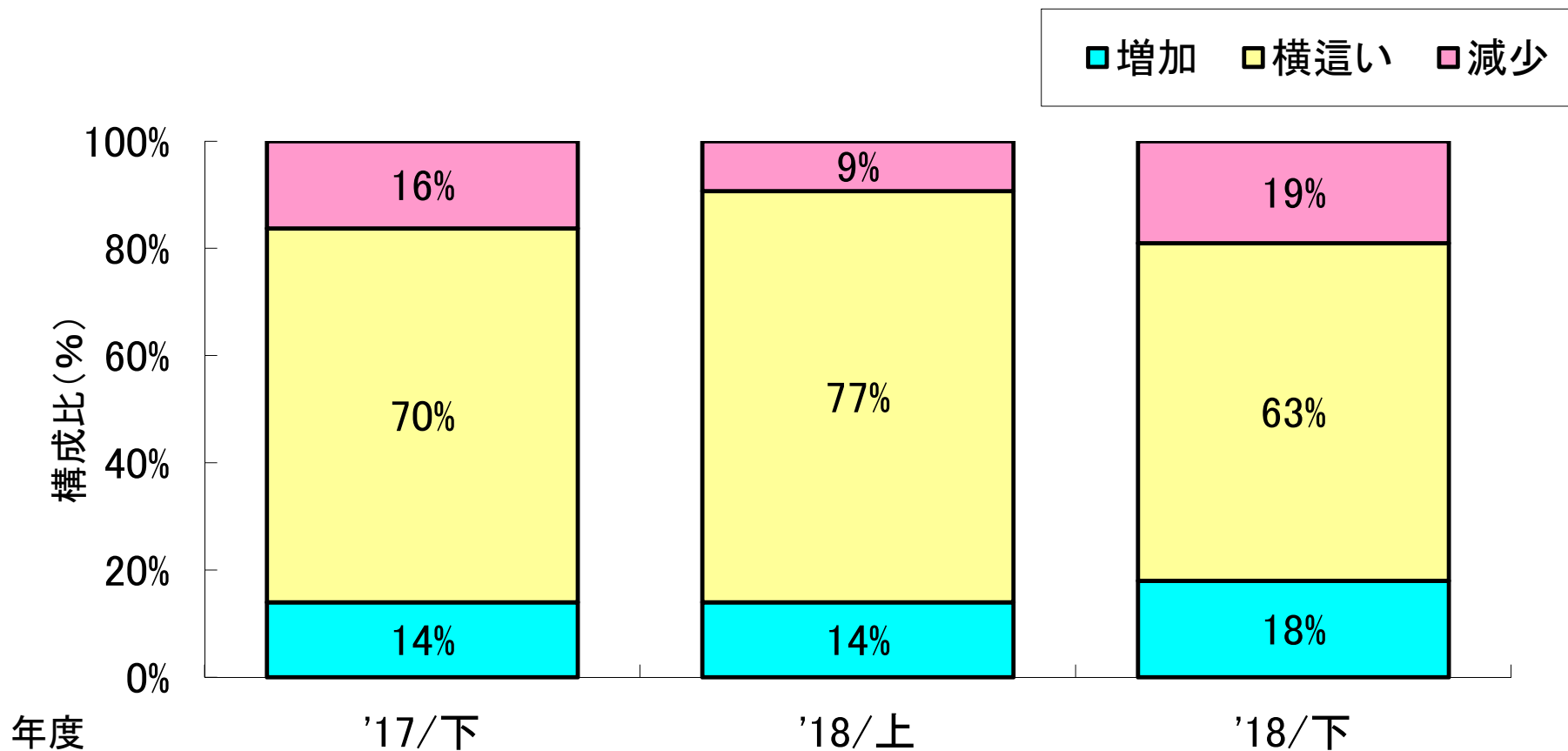


国内需要予測の背景3 (会員の見方)



住宅投資

横這いが大勢を占めるも、18年度下期は減少の見方が増える。

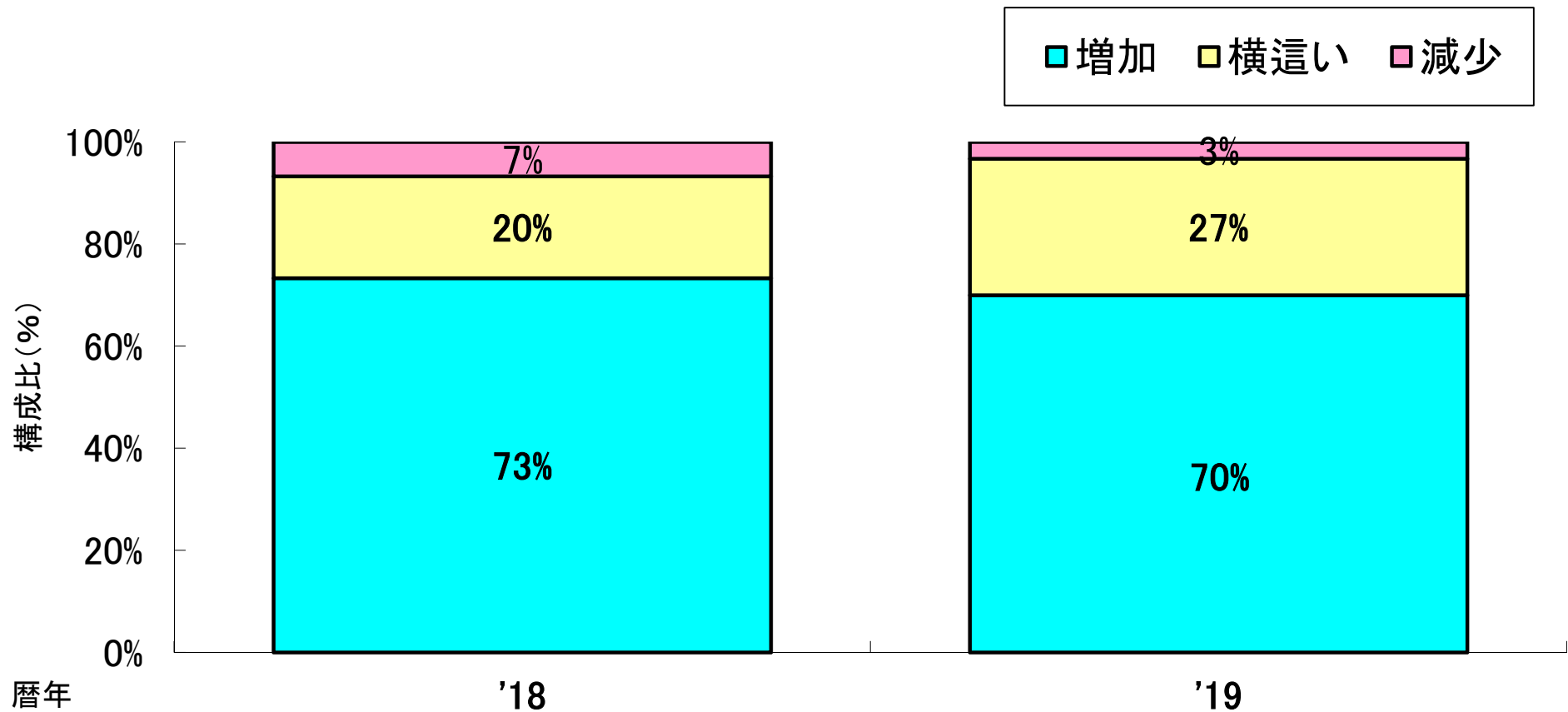


海外需要予測の背景1 (会員の見方)



北米市場の動向

18年、19年を通じて増加が大勢を占める。

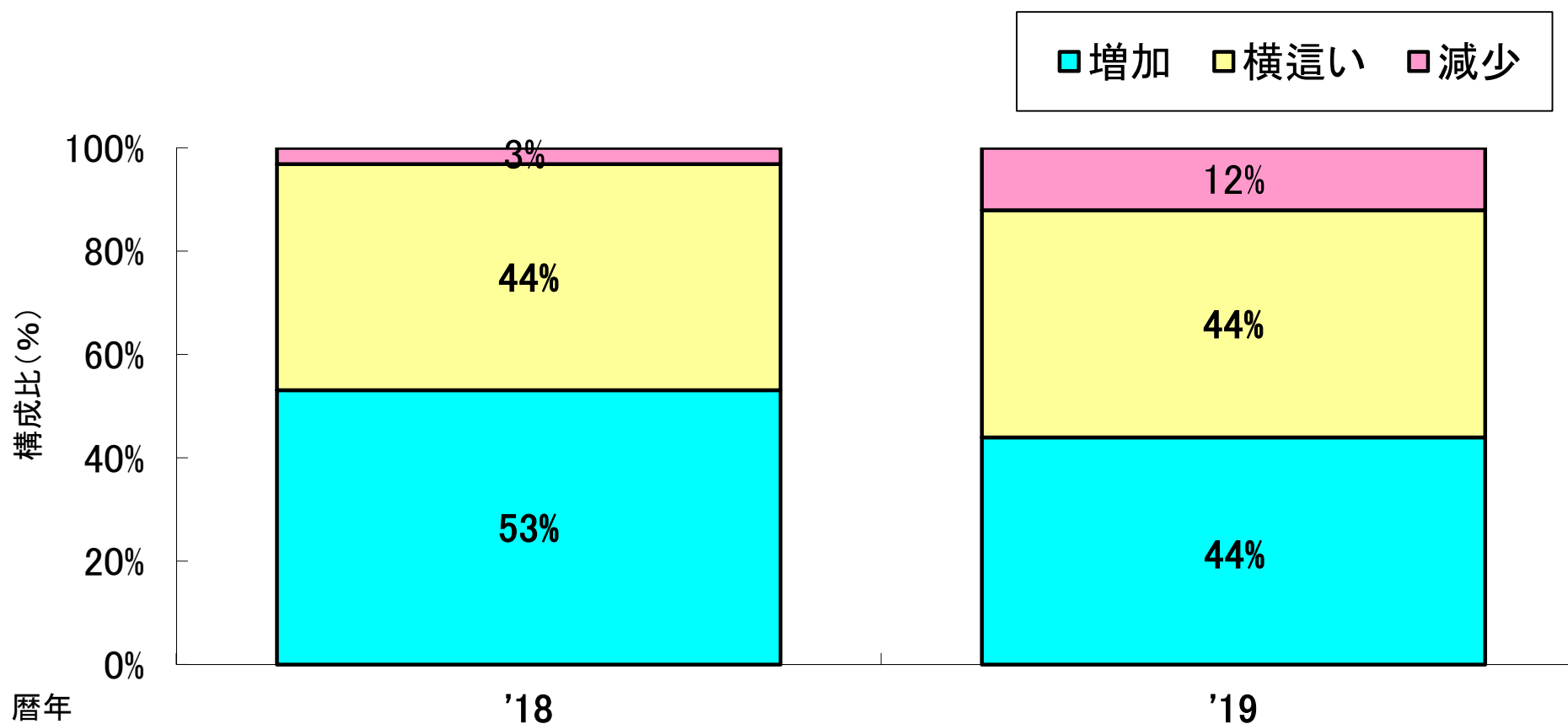


海外需要予測の背景2 (会員の見方)



欧州市場の動向

18年は増加が大勢を占める。19年は増加と横這いが同数。

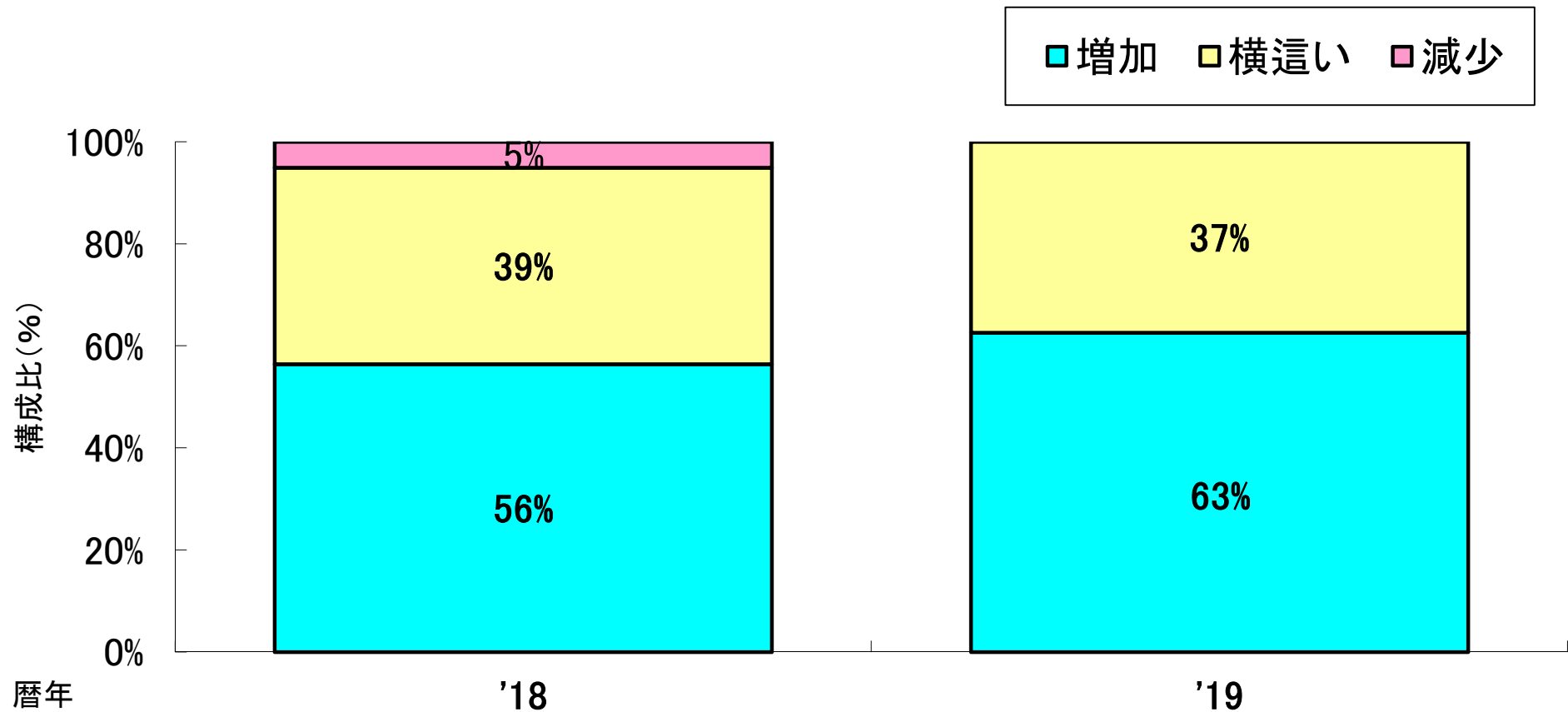


海外需要予測の背景3 (会員の見方)



中国を除くアジア市場の動向(含むオセアニア)

18年は増加が大勢を占める。19年は更に増加の見方が強まる。



中国市場の動向

18年は増加が大勢を占める。19年も好調維持を期待。

